

<b>科目名：臨床看護総論</b>		必修	1単位(45時間)	
(General clinical nursing)				
履修年次/時期：1年次 後期		授業形態：講義,演習		
主担当教員：飯塚 雅子				
主担当教員詳細：実務経験 看護師13年:実務経験より、健康状態の経過毎に対象の特性と必要なケアが理解できるように授業を行う。				
担当教員名：棚橋 泰之, 横正 奈緒美				
学修目的	臨床看護総論は、健康障害を持つ対象を健康状態の経過別(急性期・慢性期・リハビリテーション期・終末期)に、その状態特性を理解し、状態に応じた看護について理解することを目的とする。 関連するCP: CP2,CP3,CP6			
	科目No. KNz-133			
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○	
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○	
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○	
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎	
		(3) 社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○	
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○	
		(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○	
		(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○	
	◎：この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○：この講義・演習・実習と関連があるDP			
	到達目標	①健康状態の経過(急性期・慢性期・リハビリテーション期・終末期)の特徴を説明できる。 ②各健康状態の経過における対象の身体的・心理的・社会的ニーズが説明できる。 ③各健康状態の経過における看護の実践が説明できる。 ④主要な症状のメカニズムとその看護について説明できる。		
授業概要	看護の対象とその家族を、身体・心理・社会的ニーズの側面から捉え、健康状態別の看護を学ぶ。また、症状のメカニズムを基盤としたアセスメントの視点・援助の根拠を学ぶ。			
評価方法	筆記試験 100% 試験に対するフィードバックは掲示で行う。			
予習・復習時間	【予習】1.9h 【復習】1.9h			
教科書	系統看護学講座 基礎看護学④ 臨床看護総論 医学書院 看護過程実践ガイド 棚橋泰之著			
参考書	授業の中で紹介する			
オフィスワーカー連絡先	棚橋 泰之 3号館研究室 tanahashi@kdu.ac.jp 不在時はメールで連絡をお願いします。 横正 奈緒美 3号館3階共同研究室 yokosho@kdu.ac.jp 不在時はメールでお願いします			

実施回	第1回	実施日	時限	班
授業計画	ガイダンス ①授業科目の概要が理解できる。 ②授業展開と取り組むべき内容が理解できる。 健康状態の理解と看護 ①統合体としての人間の健康が理解できる。 ②健康上のニーズと看護の関連が理解できる。 ③健康状態の分類が説明できる。 ④健康レベルが説明できる。 ⑤ヘルスプロモーション看護が理解できる。	予習	臨床看護総論第1章、第2章A・Bを読み、分からない言葉を調べておく。	
		復習	講義内容を振り返り、ノートを整理する。	
		キーワード	健康、統合体、健康上のニーズ、ライフサイクル、健康レベル、ヘルスプロモーション	
授業形態	講義	担当	棚橋	

実施回	第2回	実施日	時限	班
授業計画	健康状態の経過に基づく看護(1)急性期 ①急性期とはが説明できる。 ②急性期患者の特徴がわかる。 ③急性期治療の特徴がわかる。 ④急性期患者のニーズがわかる。 ⑤急性期患者への看護援助がわかる。	予習	利尿看護総論第2章Cを読み、分からない言葉を調べておく。	
		復習	講義内容を振り返り、ノートを整理する。	
		キーワード	急性期、集中治療室、ICU/CCU/EICU、モニタリング、フィジカルアセスメント、侵襲、生命維持	
授業形態	講義	担当	棚橋	

実施回	第3回	実施日	時限	班
授業計画	健康状態の経過に基づく看護(2)慢性期 ①慢性期とはが説明できる。 ②慢性期患者の特徴がわかる。 ③慢性期治療の特徴がわかる。 ④慢性期患者のニーズがわかる。 ⑤慢性期看護の特徴がわかる。	予習	臨床看護総論第2章Dを読み、分からない言葉を調べておく。	
		復習	講義内容を振り返り、ノートを整理する。	
		キーワード	慢性期、生活習慣病、コンプライアンス、アドヒアランス、チーム医療、セルフケア	
授業形態	講義	担当	棚橋	

実施回	第4回	実施日	時限	班
授業計画	健康状態の経過に基づく看護(3)リハビリテーション期 ?リハビリテーションとはが説明できる。 ②リハビリテーション期とはがわかる。 ③リハビリテーション期の医療の特徴がわかる。 ④リハビリテーション期の患者のニーズがわかる。 ⑤リハビリテーション期にある患者の看護がわかる。	予習	臨床看護総論第2章Eを読み、分からない言葉を調べておく。	
		復習	講義内容を振り返り、ノートを整理する。	
		キーワード	リハビリテーション、リハビリテーション期、チーム医療、障害、国際生活機能分類、ADL、IADL廃用症候群、身体可動性障害、セルフケア、生活の再構築、自己概念	
授業形態	講義	担当	棚橋	

実施回	第5回	実施日	時限	班
授業計画	健康状態の経過に基づく看護(4)終末期 ?終末期とはが説明できる。 ?終末期医療の特徴がわかる。 ③終末期患者のニーズがわかる。 ④終末期にある患者の看護がわかる。	予習	臨床看護総論第2章Fを読み、分からない言葉を調べておく。	
		復習	講義内容を振り返り、ノートを整理する。	
		キーワード	終末期、終末期医療、死生観、QOL(生活の質)、緩和ケア、チームアプローチ、倫理、インフォームドコンセント、安楽死・尊厳死、トータルペイン、悲嘆、グリーフケア	
授業形態	講義	担当	棚橋	

実施回	第6回	実施日	時限	班
授業計画	主要な症状を示す対象(者)への看護(1) ①呼吸機能障害に関連する症状のメカニズムがわかる。 ②呼吸機能障害に関連するニーズ充足に向けた看護援助がわかる。 ③循環機能障害に関連する症状のメカニズムがわかる。 ④循環機能障害に関連するニーズ充足に向けた看護援助がわかる。	予習	臨床看護総論第3章A・Bを読み、分からない言葉を調べておく。	
		復習	講義内容を振り返り、ノートを整理する。	

	②呼吸機能障害に関連するヘルニアの予防に関する看護援助がわかる。	キーワード	換気、拡散、肺循環、フレッチャー、ヒュージョーンズの呼吸困難度の分類、MRC息切れスケール、胸郭運動、横隔膜運動、気道浄化、体位ドレナージ、心負荷、静脈還流量、心拍出量、末梢血管抵抗、ショック、NYHA心機能分類
授業形態	講義	担当	棚橋

実施回	第7回	実施日		時限		班	
授業計画	主要な症状を示す対象(者)への看護(2) ①栄養・代謝障害に関連する症状のメカニズムがわかる。 ②栄養・代謝障害に関連するニーズ充足に向けた看護援助がわかる。 ③排泄機能障害に関連する症状のメカニズムがわかる。 ④排泄機能障害に関連するニーズ充足に向けた看護援助がわかる。	予習	臨床看護総論第3章C・Dを読み、分からない言葉を調べておく。				
		復習	講義内容を振り返り、ノートを整理する。				
		キーワード	栄養素、消化・吸収、代謝、基礎代謝量、主観的包括評価(SGA)、客観的栄養評価(ODA)、咀嚼・嚥下障害、排尿障害、排便障害				
授業形態	講義	担当	横正				

実施回	第8回	実施日		時限		班	
授業計画	主要な症状を示す対象(者)への看護(3) ①痛みのメカニズムがわかる。 ②痛みのある患者の援助がわかる。 ③悪心・嘔吐のメカニズムがわかる。 ④悪心・嘔吐に対する援助がわかる。	予習	臨床看護総論第3章Iを読み、分からない言葉を調べておく。				
		復習	講義内容を振り返り、ノートを整理する。				
		キーワード	痛みに影響する因子、トータルペイン、痛みの分類、皮膚神経支配領域、ペインスケール、嘔吐中枢、中枢性嘔吐、末梢性嘔吐				
授業形態	講義	担当	横正				